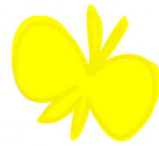


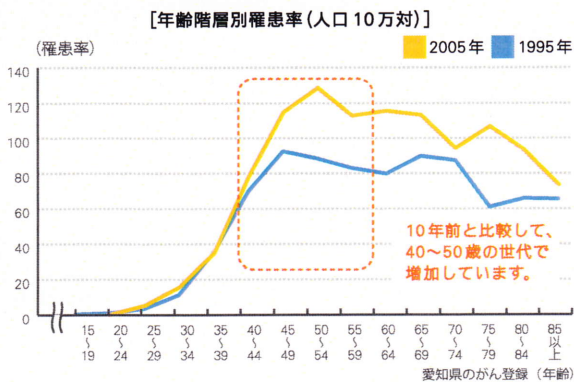
乳がんがんで亡くなっています。  
早期発見、早期治療により、治る病気です。



### 乳がん

乳がんにかかる人は増えており、特に40～50歳の世代で増加しています。乳がんが増加した理由としてあげられるのが、女性を取り巻くライフスタイルの変化や、食生活の欧米化が考えられており、今後も乳がんは増加すると予測されています。

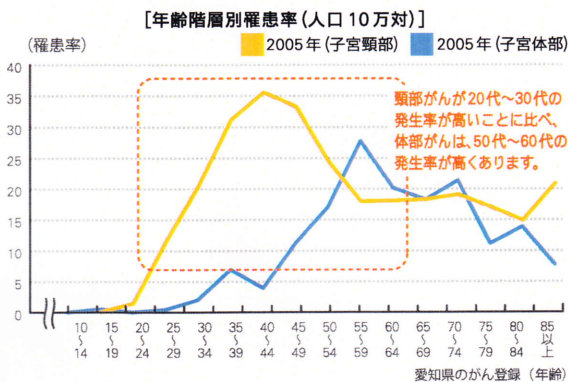
乳がん検診では、医師が乳房を診察し、しこりの有無を判断する視触診と、乳房専用のX線撮影のマンモグラフィ検査を実施します。マンモグラフィは、撮影時に多少の痛みはありますが、乳房の外側から触っただけでは見つけないがんを発見することができます。



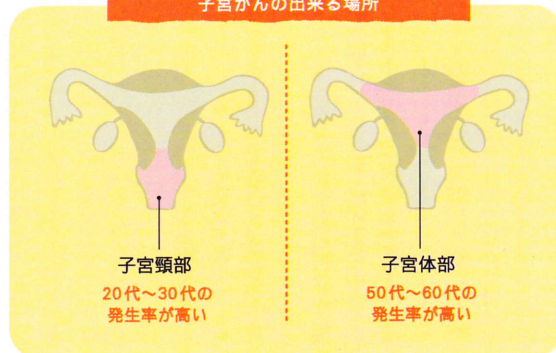
### 子宮がん

子宮がんは、がんができる場所により、子宮頸がんと子宮体がんの2種類あります。子宮頸がんは、性交渉で感染するヒトパピローマウイルス (HPV) が主な原因と考えられており、特に20歳代、30歳代の若い女性に増えています。

子宮頸がんの検診は、子宮頸部から綿棒などで細胞を取り、顕微鏡で調べる細胞診と、内診によって子宮の状態を確認します。また、子宮頸がん検診の問診の結果、不正性器出血など一定の症状があることが分かった場合は、子宮体部から細胞を取り検査することがあります。



#### 子宮がんの出来る場所



#### 子宮頸がんワクチンとは？

ヒトパピローマウイルスからの感染を予防するワクチンです。多くの外国では既にワクチンの接種が行われており、日本でもワクチンが承認されました。がん検診とワクチン接種を組み合わせることにより、子宮頸がんの減少が期待されます。

がん検診の大切さ、もう伝わりましたか？  
怖がらずに、初めの一步を踏み出しましょう。

